

# 2014年度事業報告書

一般財団法人川崎教職員会館

## I 一般財団法人川崎教職員会館の維持運営に関すること。

### (1) 会費の徴収

会費として、一人月額340円を徴収し、会館運営及び会館建設資金に充てました。

### (2) 会館の利用

- ① 事務室は、川崎市教職員組合、川崎教育文化研究所、川崎市公立学校管理職組合、有限会社川福共に賃貸しました。
- ② 会議室は、会員等の利用に応じました。

## II 教職員の教養向上に関すること。(教養向上事業)

(定款第4条第2項)

### (1) 教育研究活動の推進と教育研究・実践記録集の作成

「21世紀の川崎の教育を創造する研究会」実行委員会に参加し、教育研究活動を推進しました。また発表した研究・実践内容を中心に、「教育実践事例集」を作成(190冊)し、各学校及び関係機関などに配布しました。

- ・ 21研地区研究会 2014年10月8日(水) 市内7地区会場
- ・ 21研全市研究会 全体会  
2015年1月20日(火) 川崎市総合教育センター 研修室  
分科会  
2015年1月21日(水) 川崎市立稲田小学校
- ・ 21研高校研究会  
基調講演会  
2014年8月21日(木) エポックなかはら  
分科会(教科別)  
2014年10月8日(水) 商業高校

### (2) 教職員の自主的研究・研修の助成

小・中・高・特各校種の教職員の交流をはかり、相互理解を増進するため、中学校ブロック単位の研修会に対し、助成しました。開催したブロックに、1万円を交付しました。

(34中学校ブロック、112校)

### (3) 教育写真展の開催

写真芸術についての教職員の意欲を喚起し、写真を通して子どもの表情から教育の実態などを探るため、教育写真展を開催しました。共催:(一財)川崎市立学校教職員互助会

- ・ 11月21日(金)～11月26日(水)
- ・ 会館とどろき 1階ギャラリー 出展者(12人) 作品(36点)

#### (4) 国際教育交流事業の助成

川崎市およびその姉妹友好都市における教育の現状と課題、その課題解決への試みなど交流するとともに、21世紀の教育のあり方について教育交流を通して、相互交流と友好の増進をはかるため川崎市姉妹友好都市国際教育事業に助成しました。

### III 教職員の福祉厚生に関すること。(福祉厚生事業)

(定款第4条第3項)

#### (1) 教職員体育大会関係事業の後援、助成

① 川崎市教職員球技大会(主催一市教委、川教組、校長会)に対して、後援・助成しました。

開催日 8月16日(土)

会場 市内各会場

② 神奈川県教職員スポーツ大会(球技)(主催一神教組、後援一市町村教委他)への参加助成を行ないました。

開催日 11月15日(土) 22日(土) 24日(月)

会場 県下各会場

③ 川崎市教職員運動会(主催一市教委、川教組、川管組)に対して、後援・助成しました。

開催日 10月11日(土)

会場 よみうりランド

#### (2) 各種レクリエーション事業の開催、助成

① 全市ボウリング大会の開催(共催一川教組)

各地区予選を通過した20チームによる教職員ボウリング大会を開催し助成しました。

実施日 11月28日(金)

会場 川崎グランドボウル

参加人数 80名

#### (3) 図書交換コーナーの運営

川崎市教育会館に設置した図書交換コーナーについては、引き続き職員団体に管理運営を委託し、年1回運営に関する報告を受けました。

#### (4) 教職員向け税務相談・法律相談の実施

① 税務相談について

税理士と顧問契約を結び、教職員の税務相談を行いました。

・電話や面談による税務相談

② 法律相談について

職員団体の顧問弁護士に教職員が法律相談できるよう、職員団体に依頼し、その了承を得ました。

・電話や面談による法律相談

#### (5) 新規採用予定教職員を対象とした賃貸住宅紹介事業

2015年度新規採用予定教職員を対象に、不動産業者による優良物件の紹介を目的とした賃貸住宅紹介事業を行いました。

### IV その他財団の目的を達成するための必要な事業(教育文化振興事業)

(定款第4条第1項及び4項)

(1) 主催、共催事業

① 青少年地域間交流事業

川崎市の子どもが、各地の豊かな自然とそれに立脚した産業や文化にふれ、生活体験を広げるとともに、当該地域の子どもとの友好交流を深めるための事業を行いました。

「ふれあいサマーキャンプ」の実施

- ・ 島根県益田市（小・中学生20名）  
7月25日（金）～7月28日（月） 3泊4日
- ・ 長野県富士見町（小・中学生42名）  
7月29日（火）～8月 1日（金） 3泊4日
- ・ 和歌山県古座川町・太地町（小・中学生25名）  
7月29日（火）～8月 1日（金） 3泊4日
- ・ 岩手県花巻市（小・中学生22名）  
8月 1日（金）～8月 4日（月） 3泊4日
- ・ 北海道中標津町（小・中学生23名）  
8月19日（火）～8月22日（金） 3泊4日

上記の事業を実施するため、「青少年地域間交流事業実行委員会」に役員を派遣し、事業内容の検討や、具体的実施などにあたりました。

② 健やかで、心豊かな子どもを育てるのにふさわしい文化活動をすすめます。その一環として、平和・人権・多文化共生・環境を基調とした「親子映画会」を夏休みに開催しました。

2014年度上映映画「エルマーの冒険」 各会場2回上映

1回目：10時～11時45分	2回目：13時30分～15時15分
労働会館	8月 4日（月）
幸市民館	8月 1日（金）
エポックなかはら	7月30日（水）
高津市民館	7月31日（木）
宮前市民館	7月30日（水）
多摩市民館	7月31日（木）
麻生市民館	7月28日（月）

参加人数 8296名

③ 市民の教育文化向上をはかるため、保護者・市民・教職員を対象に、「市民文化講演会」を開催しました。

- ・ 福島の子どもたちは、現状はどうなっているのか  
2014年12月17日（水） 18時～20時  
川崎教職員会館1階会議室  
講師： 高橋真知子（福島の子どもたちとともに川崎市民の会代表）  
寺田靖子（小学校教諭）井上節子（小学校教諭）  
参加人数 40名
- ・ だれでも幸せに生きていくために～子どもの権利の視点を通して～  
2015年 1月28日（水） 18時～20時

川崎教職員会館1階会議室

講師：山田 雅太（元川崎市立小学校校長） 参加人数 30名

- ④ 小学校5・6年生、中学校1年生を対象に、年3回（7月、12月、3月）「川崎こどもニュース」を発行し、学校内外での子どもの活動の紹介や地域の文化・催し物の紹介などを行いました。また、小学校5・6年生、中学校1・2年生を対象に、サマーキャンプのお知らせ・募集を行いました。年1回（5月）
- ⑤ 子ども・保護者・市民・教職員がさまざまな文化に触れ、また体験を通して豊かな心を育むため、音楽・文化などの事業を、（一財）川崎市立学校教職員互助会と共催で開催しました。

(ア) 親子古典芸能鑑賞会 11月8日（土）  
出演者：入船亭小辰／鏡味正二郎／新城郷土芸能囃子曲持保存会  
事業内容：こども寄席と新城郷土芸能囃子曲持  
参加人数 42名

(イ) 親子音楽観賞会 1月17日（土）  
出演者：青島広志・小野つとむ  
事業内容：青島広志のたのしい音楽会  
参加人数 289名

⑥ 親子平和推進事業

風化しつつある戦争体験の伝承を図り、平和推進に係る市民相互の交流及び生涯学習の場として設立された「川崎市平和館」に親子で来て、見て、考える機会をつくり、未来をにやう子どもたちと、その保護者および教職員が平和の尊さについて考える「親子で来て、見て、考える平和推進事業」を実施しました。場所は、川崎市平和館を中心に行いました。

参加人数 延べ約600人

- ・ 4月12日 空襲体験した人からみなさんへのメッセージ  
・「おれたちのビー玉」「あの忘れない日」 DVD上映  
・川崎空襲の体験談を聞く
- ・ 5月10日 「生命の尊さ」について考えよう！  
地震だ！その時どうする？自分を守り、みんなも守るには  
～地震体験車を通して学ぼう～
- ・ 6月14日 動物とのふれあいからいのちの大切さを学びましょう  
～移動動物園が平和館に来ます～  
協力：福田牧場のみなさん
- ・ 7月19日 「平和館」はどんなところ？  
・平和館 専門調査員による平和館内めぐり  
・川崎市内の先生による夏休み自由研究の指導
- ・ 8月 2日 学童疎開体験バスツアー  
＝学童疎開の地 大山を訪ねて＝  
・学童疎開体験者・川崎空襲体験者によるお話

- ・ 9月13日 生きている地球の声を聞こう！  
 ～ガサガサ水辺の移動水族館～
  - ・ふれあいタッチングプール
  - ・多摩川アユの紙芝居
  - ・アユの水中ビデオ
  - ・水辺の安全紙芝居 協力：山崎 充哲ほか
- ・ 10月18日 本や劇で、「平和」について考えよう
  - ・読み聞かせや人形劇を楽しもう
 協力：児童文化研究会ほか
- ・ 11月 8日 平和の大切さについて学んだこと
  - ・広島への修学旅行の体験や、学習を通して「平和」について考  
 えている中学生からの報告
- ・ 12月13日 「いろいろな国の文化にふれよう」
  - ・遊びを体験しよう！・文字を書いてみよう！
  - ・文化に親しもう！
 協力：特定非営利活動法人KFV
- ・ 2015年1月10日 みんなでくらす共生社会  
 「目の不自由な方の話を聞いて」
- ・ 2015年2月14日 人権尊重  
 「仲直りの方法」「けんかを防ぐ方法」
- ・ 2015年3月14日 「平和」について考えよう！  
 川崎大空襲記録展オープニングイベント
  - ・登戸小学校 スクールバンドによる演奏
  - ・「平和」をテーマにした総合学習の報告  
 （東住吉小学校代表児童による発表）
  - ・広島修学旅行や平和学習から学んだこと  
 （東橋中学校代表生徒による発表）

## (2) 助成事業

### ① 外国人向け川崎教育案内事業

外国語を母語とする保護者が、日本の教育に関する理解を深め、安心して日本の教育を受けることができるよう、外国語による川崎の教育（入学手続き、日常生活、教育相談など）案内の編集・作成に助成しました。

### ② 子ども、保護者、教職員、市民による「ボレロ」演奏会に助成しました。

開催日 12月14日（日）

会場 川崎市教育文化会館

### ③ 教育支援事業

教職員の退職後の社会貢献、生きがいをづくり、豊かな子どもの時代を創造し、地域における教育力の向上をめざすために、退職教職員を中心に、教育相談事業、学校区単位での教育支援のための人材情報収集、学校教育支援としてのボランティア派遣などを行う川崎市退職教職員

の会の「教育支援室」に対し助成しました。

(3) 各種出版事業

- ① 教育総合誌「形成」を出版しました。編集については、川崎教育文化研究所が担当しました。発行部数は、270部、学校及び関係機関に配布するとともに、教職員等を対象に、購読をすすめました。

・「形成」第24号

特集：「川崎市・川教組・市民がすすめる平和・人権のとりくみ」

- ② 各種の講演会、得難い体験、教職員や市民の教育についての主張、地域性のある研究などの発表を「川崎ポケット文庫」として発刊し、教職員を中心に購読をすすめました。

・ポケット文庫No. 25 「桃太郎の鬼退治」を退治する

村井 守 著

- ③ 川崎教職員会館創立50周年記念誌を発行しました。

(4) ホームページの作成

当法人の事業内容、各種事業の宣伝など情報開示に努めました。